

令和4年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）  
分担研究報告書

痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と  
診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 横地 歩 三重大学医学部附属病院痛みセンター 副センター長

**研究要旨**

集学的診療における多職種連携と地域における診療ネットワークの構築を目指しています。定期的な多職種でのカンファレンス、及び、曜日を決めての痛みセンターとしての外来業務の確立を目指します。卒後教育（三重県慢性疼痛診療研修会）と、卒前教育（三重大学と鈴鹿医療科学大学の合同での慢性疼痛に対するチーム医療に関する教育；学部教育初期の多様な専攻の学生を対象とする）を提供し、慢性疼痛診療の基盤づくりを試みています。集学的診療の推進、診療ネットワークの構築、教育の充実に関し、工夫の余地を探索し、対応策を立案し検証します。社会の要請に耳を傾け、地域に少しでも貢献できるように努力していきます。

**A. 研究目的**

平成4年度は、三重大学麻酔科と痛みセンターの体制移行期となり、痛みセンターとしての活動は減少した。今後のために、工夫の余地を探索する。

**B. 研究方法**

通常業務を通じ、出来たこと、出来なかったことを明らかにし、工夫の余地を列举する（令和4年2月から令和5年1月）。（「三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会を通じた分担研究に関する手続き」については、令和5年4月まで。）

（倫理面への配慮）

主観的観察のみであり、倫理面の問題は起こらない。

**C. 研究結果**

月1回行っていた痛みセンターカンファレンス（多職種）は4回のみで、それまでの1/3に減少した。三重県慢性疼痛診療研修会は、昨年度報告済の1回のみであった（前年度は2回。他に、オンラインファシリテーション研修やチームについての研修会を開催。）。鈴鹿医療科学大学との合同での卒前教育では、なんとか、役割を果たすことが出来た。痛みセンターとしての延べ診療患者数は、300人台と、前年度の1/3～1/4に減少した。「三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会を通じた分担研究に関する手続き」は、研究終了手続き2件、実施状況報告2件、メン

バーの変更に関する手続き1件、新たな研究の登録手続き1件、終了手続き後のデータの再提供に関する手続き1件を完了し得たが、遅延が目立った。メンバーの変更に関する手続きは、1件が未了である。

**D. 考察**

痛みセンターカンファレンスや三重県慢性疼痛診療研修会の回数の減少、及び、痛みセンターとしての延べ診療患者数の減少は、他業務とのバランスや、痛みセンターそのものの人員の減少、及び、メンバーのストレス状況が関与していると感じている。

鈴鹿医療科学大学との合同での卒前教育で、ある程度の役割を果たした要因は、三重大学側の教員の努力のほか、鈴鹿医療科学大学側の負担増大もあったものと感じている。

現状、地域医療との間で、症例への組織的な対応はできておらず、痛みセンターで対応すべき症例の、倫理や道理にかなった選別は出来ていない。

**E. 結論**

主観的観察であり、客観的な結論には達し得ないが、事務職員を含む各種人員の獲得、他大学との良好な協力関係、地域との良好で組織的な役割分担、及び、職員一人一人のバーンアウト対策が必要と考える。

**F. 健康危険情報**

総括研究報告書にまとめて記載

## G. 研究発表

### 1.論文発表

- 1) 坂元正,横地歩,丸山一男.腕神経叢ブロック(斜角筋アプローチ)が著効した慢性胸痛の1症例.日本ペインクリニック学会誌 29(5),77-80,2022.
- 2) 丸山一男,横地歩.特集:痛み 慢性疼痛診療ガイドライン.現代医学 69(1),25-29,2022.

### 2.学会発表

- 1) 横地歩,牛田健太,坂本正,三上勇氣,賀来隆治,他.復職過程の慢性疼痛患者への「行動分析に基づく心理教育」の効果に関する一考察.日本認知・行動療法学会発表論文集 48,218-219,2022.
- 2) 尾本朋美,牛田健太,横地歩,丸山一男,他.「地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」オンライン開催について -参加者アンケート結果から-.日本ペインクリニック学会誌 29(6):140-140,2022.
- 3) 大川真駒,牛田健太,坂本正,横地歩,丸山一男.仙骨硬膜外ブロックをきつかけとした運動の推奨により疼痛が軽快した腰椎変性すべり症に伴う坐骨神経痛の1例.日本ペインクリニック学会誌 29(6):130-130,2022.

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## 研究協力者

坂本 正 三重大学医学部附属病院麻酔科  
助教  
牛田健太 三重大学医学部附属病院リハビリ  
テーション科 理学療法士